

○以化三年壬寅月浦船におえりは是も取たる也  
所因心より来ん

北亞墨利加船二艘本國已巳月廿日出帆廣東  
上月廿九日為午四月廿日お帆ニシホへ三十一日帰る也  
壬寅月二十九日節表上云

大船 コンスヒユス 長四十二石半 船六石五分

石火矢 八十三挺

小船 ウイシセンス 長二十石一分 船五石五分

石火矢 二十四挺

燭船五ツ 大船帆柱二百フット 艦 百七十フット

但フットハ是こ三是一石三積帆柱六十二石五分

小取帆百五十二フット表百四十二フット艦百三十六フット

大船

将者人 副将者人 士卒人 士役三人 医者三人 船屋守二人  
水吏頭者人 酒食役四人 石火矢掛二十人 大工四人 帆縫師  
四人 桶師者人 鑿刺者人 仕立師者人 繕師者人 當師  
者人 音樂師八人 各卒八千人 船屋者人 強人 救水吏  
船合八百人

小船

将者人 副将者人 士二十五人 士役一人 医師或人 船屋  
者或人 水吏頭者人 石火矢掛十三人 酒食役四人 大工  
三人 帆縫師三人 桶師者人 船屋者人 鑿刺者人 當  
樂師六人 各卒二十人 南京人六人 強人 救水吏  
将シンステムル 此者唐島上 各卒百八人 以は代り来

西暦中位

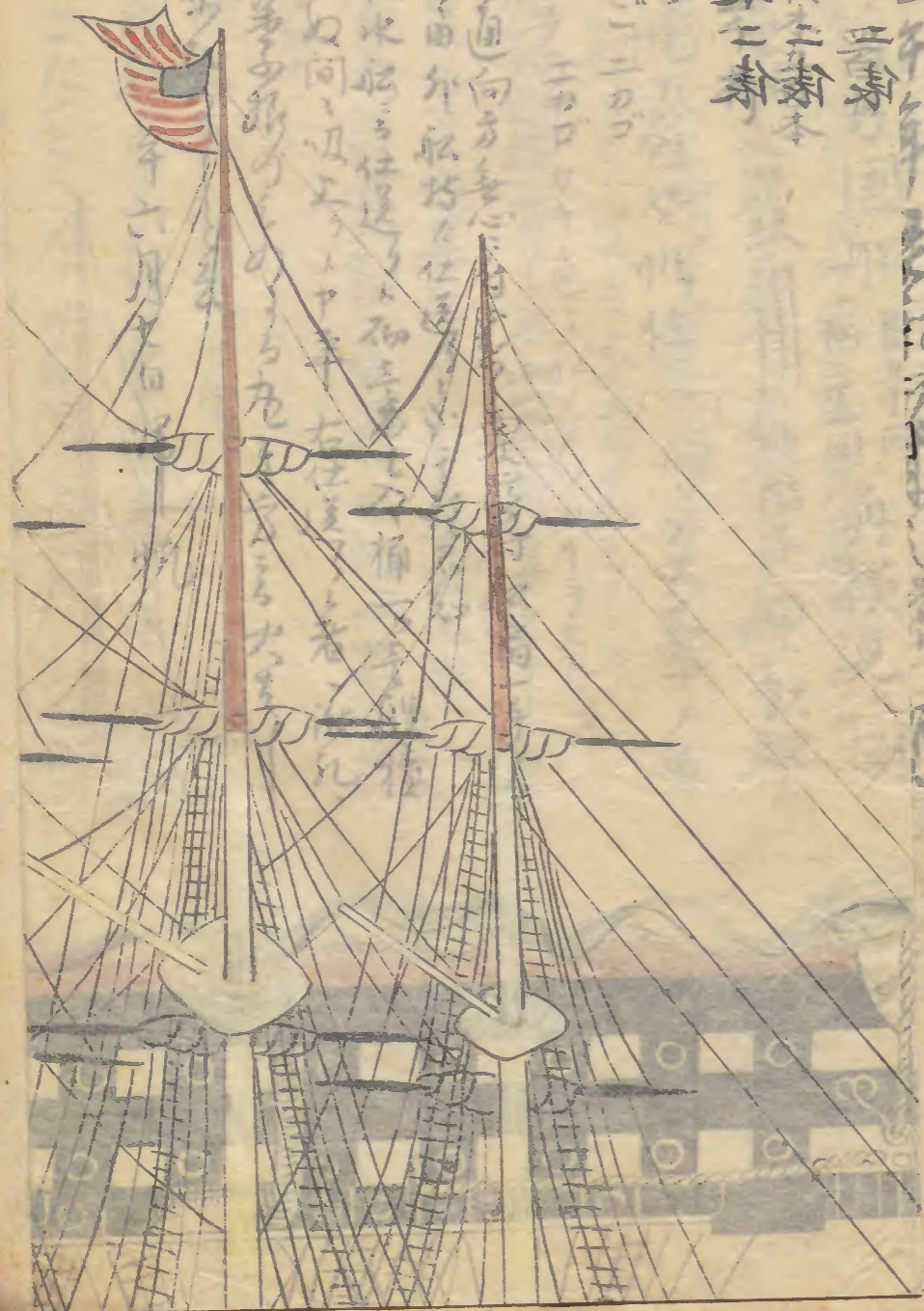
ビツテシ 若年男位

副将ツイエル 士官ターニス 同小スウラトホウト  
小亞墨利加曆六月四日出帆 二月六日度東上  
ビツテシ大船七十隻 小船四十六隻  
大船人救救令八百人 船八百隻 船八百挺  
船主ノ名エームスロベテイル

大清國花其國日本國我到日本好去不好去貸ち  
らー文書ハ字組し清人紀之我日本人果、無七  
通高し交中南出し米并及よの船心海一、  
ゆも四大只何方し産物ニ、るも山岳、  
アヤ方取出ら申

○ム七三年

- 一 珠 三 割
- 一 米 三 割
- 一 白米 二 割
- 一 玉子
- 一 丸



右の通向方意  
仕送、由外船  
但此船は仕送  
世の同、  
昔より船の

海城トナリ

海城トナリ

北アメリカ国船 長幸間 舟横見

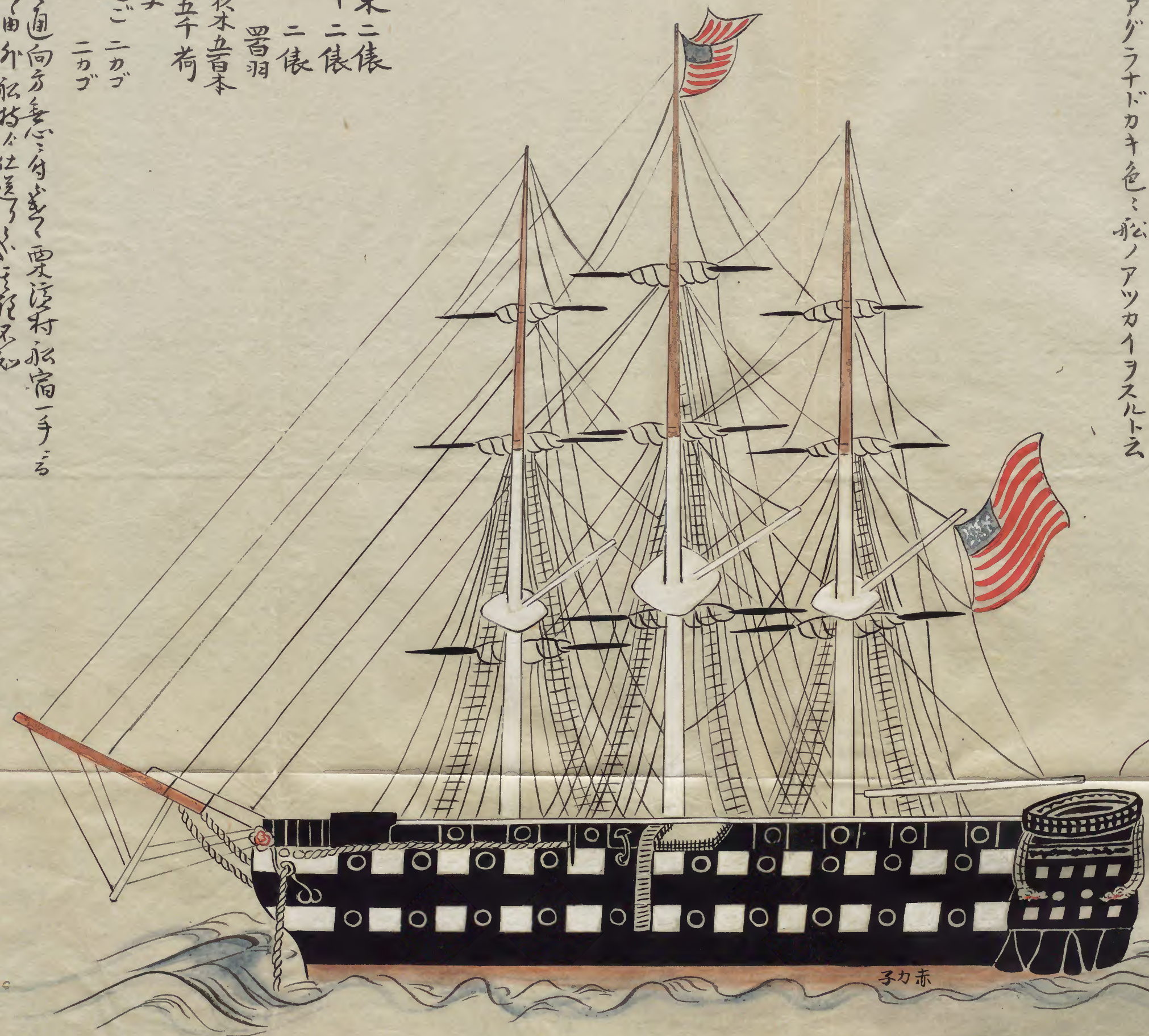
船黒キ処ハ銃 用用ハ繩階子〇ハ銃炮カ尻

ハ帆ヲ卷処帆柱ニハクロンボフノ居ル処ニテ

アグラナドカキ色ニ船ノアツカイヲスルト云

ハケルニテコンテンギラ 仕掛人ヲ考居ルヨシ

子カ赤



- 一白米ニ俵
- 一ムキニ俵
- 一穀ニ俵
- 一鶏 罾羽
- 一薪松木五百本
- 一水 五斗荷
- 一玉子
- 一アムニニカブ
- 一瓜 ニカブ

右ノ通向方無心ニ付カテ 粟江村船宿ニテ云

但水船ニハ送リム初キ者トナリ樽ニテ積積多クハ皮の瓶物右樽の中ノ一ニ目ヲ見  
せぬ間ハ以上ノ事 右ニ送リム者ハ御礼ニテ草子瓶の物を投テハ御國の御  
菓子瓶のそのころ丸を方々カキ 瓶のものハ信を明クシものこそ又ハ

年六月七日 帰帆